



**がんばろう！東北**



**着任のご挨拶**

## 東北地方整備局 総括防災調整官 中川 博樹

令和3年4月より、東北地方整備局 防災G 総括防災調整官を  
拝命いたしました中川博樹と申します。これまでは、主に河川、  
ダムに関する業務に関わって参りましたが、これからは部門を超え  
た災害に対する業務に就くこととなりますので、防災エキスパート

の皆様方にはこれから大変お世話になりますので、よろしくお願ひします。

国土交通省の災害対応は、これまで日常的な管理業務等を行いながら災害発生時において、培った知見や職員の多岐にわたる活動によって復旧、復興に取り組む体制で行われてきました。しかし、近年における全国的に大規模災害の発生に伴い、平成20年に創設された各地方整備局の緊急災害対策派遣隊(テック・フォース)の全国的な活動や、新しい取り組みとしてのドローン調査隊、Car-SAT等の活用により、広範囲に即時的な被災状況を把握しながら、令和元年の東日本台風災害、令和2年の九州北部豪雨災害、東北最上川の洪水災害に際して迅速な対応を図ってきております。

また、近年の災害は大規模化しており、直轄管理区域にとどまらず広範囲の区域の施設に及んでおり、復旧の迅速化と被災住民の安全確保を行う必要が生じてきています。したがって、技術の向上や、新しい機器の活用は進んできているものの、災害対応の基本はあくまで人、職員であるが、ここ20年の間に総職員数は約1割減少するとともに、経験を積んだ職員の減少により、的確な災害時の対応に懸念が生じております。

防災エキスパートの創設は、そのような職員減少の補填や、これまでの知見に基づく現役職員への助言、指導として活かすことを目的として、平成7年の阪神淡路大震災を契機に国土交通省のOBの方々を中心に組織され、東北の防災エキスパートの活動としては、令和元年までに延べ12,056人の献身的な活動により多く災害後の早期復旧、復興に役立っております。特に、未曾有の災害であった平成23年3月の東日本大震災に伴う活動においては、東北各地で延べ2,277人の皆様の活躍があり、本年3月の震災から10年という短期間に於いて、震災の被災地の復旧、復興、生業の復活が実感できる状況となりました。

東北地方整備局と東北防災エキスパートの新たな取り組みとしては、令和元年の東日本台風に伴う他地整からのテック・フォースやリエゾンの支援本部の受け入れをエキスパート事務局となっている、東北地域づくり協会内に設営頂き災害復旧の円滑な業務にご協力を頂

## 着任のご挨拶

きました。その支援本部を令和3年3月迄に機能アップ頂き、整備局との協定に基づき整備局との直接的な情報共有が図られる災害対策室の代替施設として整備されました。

また、整備局職員の減少の補填、業務支援の観点から、関係業界との調整の中で、令和2年9月に民間人員47名の防災エキスパートの増員登録、また業務の拡充より、体制強化を図って頂きより心強い存在となっています。

今後は、首都直下地震や南海トラフ大規模地震の発生に備えた、東北地整テック・フォー等と連携した広域活動の取組みを促進することとしており、防災エキスパートの皆さんとの緊密な連携を図り事前準備を整えていきたいと思っています。

最後になりますが、引き続き東北地方及び日本全国の安全・安心のため、ご協力をお願いいたします。

## 事務局報告

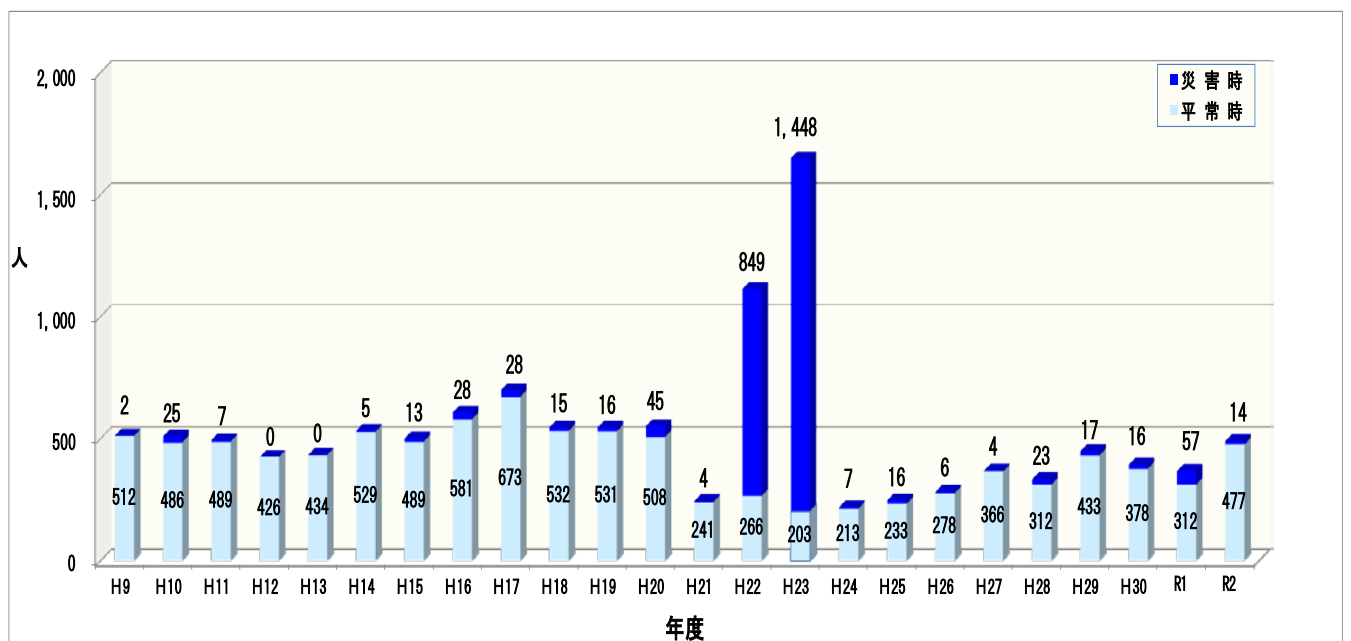
### 防災エキスパートの支援状況について

H9～R2年度まで

防災エキスパート制度は、平成8年2月に立ち上がり、本格的な活動は平成9年9月から始まり、活動開始以降24年の活動となっております。支援人数は、平成9年～令和3年3月末までで、**延べ12,547人**の方に活動していただいております。

防災エキスパート出動状況（人） ※平常時・災害時別（東日本大震災含む）

年度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
災害時	2	25	7	0	0	5	13	28	28	15	16	45	4	849	1,448	7	16	6	4	23	17	16	57	14
平常時	512	486	489	426	434	529	489	581	673	532	531	508	241	266	203	213	233	278	366	312	433	378	312	477
合計	514	511	496	426	434	534	502	609	701	547	547	553	245	1,115	1,651	220	249	284	370	335	450	394	369	491



## 令和2年度活動状況

令和2年度は、のべ**491人**の活動がありました。

災害時 14名【令和2年7月27日 前線及び低気圧に伴う降雨 7名】

【令和3年2月13日 福島県沖を震源とする地震対応 7名】

平常時 477名 重要水防箇所合同巡視、危機管理演習、  
徒歩点検、意見交換会 ほか

県 別							
月	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
4月	0	0	14	0	0	0	14人
5月	0	0	1	0	0	0	1人
6月	2	17	10	0	8	0	37人
7月	4	0	27	2	9	0	42人
8月	8	17	121	0	15	6	167人
9月	0	0	6	10	0	0	16人
10月	0	0	25	0	0	32	57人
11月	0	25	16	2	0	11	54人
12月	0	11	0	0	0	0	11人
1月	0	0	9	0	0	0	9人
2月	5	11	41	9	8	9	83人
3月	0	0	0	0	0	0	0人
計	19人	81人	270人	23人	40人	58人	491人

## 災害対応

### 令和3年2月13日 23:08 福島県沖を震源とする地震対応

最大震度6強の地震を受け、仙台河川国道事務所及び福島河川国道事務所からの出動要請と自主参集により、令和3年2月13日～2月14日まで**防災エキスパート延べ7人を派遣**し、災害支援活動を実施しました。



R3.2.14 角田出張所河川管理施設点検



R3.2.14 仙台河川国道事務所災害対策室

## 事務局報告

## 防災エキスパート活動懇談会の開催について

(一社)東北建設マネジメント技術協会所属の防災エキスパートが新規登録されました。活動にあたっては、地域づくり協会の各県に配置されている支所が防災エキスパートの活動要請や活動事務の窓口となっていることから、各県登録の建設マネジメント技術協会の防災エキスパートを対象に、担当する支所長との活動懇談会が開催されました。なお、青森支所においては、コロナ感染症対策を考慮し、開催調整中です。

地域づくり協会支所	開催日	時間	参加者数
		場所	
岩手	令和2年12月15日(火)	13:30～ 岩手支所1階会議室	11人
仙台	令和2年12月11日(金)	13:30～ 仙台支所2階会議室	13人
秋田	令和3年1月13日(水)	14:00～ 秋田支所2階会議室	9人
山形	令和2年12月8日(火)	13:30～ 山形支所2階会議室	11人
福島	令和3年1月12日(火)	13:30～ 福島グリーンプラザ	12人
計			56人

開催にあたっては、防災エキスパート活動の役割やこれまでの活動実績、活動時における基本事項等が事務局より説明され、その後意見交換が行われました。



仙台支所懇談会



岩手支所懇談会



秋田支所懇談会

## 事務局報告

## 防災エキスパート活動懇談会の開催について



山形支所懇談会



福島支所懇談会

## 防災エキスパート研修を開催

頻発する風水害や今後発生が確実視されている首都直下型地震、南海トラフ地震等による大規模自然災害に備え、防災体制を強化するための一環として、国土交通省における災害時の対応、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)活動の概要等に関する研修会を令和3年2月3日(水)に東北地方整備局と共催で開催しました。

今回の研修は、令和2年9月10日付けで新たに防災エキスパートに登録された一般社団法人東北建設マネジメント技術協会加盟会社所属技術者(47名)と、東北地域づくり協会ロジ登録者を受講対象とし、本所における聴講のほか、協会各支所等におけるウェブ聴講の形式で行いました。

研修会は全会場で82名の参加者をもって下記プログラムで実施され、最後の質疑応答では災害時における具体的活動内容や留意点に関する質問等、非常に有意義な研修となりました。

## 研修プログラム

- 国土交通省の災害対応について  
：東北地方整備局 総括防災調整官 木村 伸一
- TEC-FORCEの概要  
：東北地方整備局 災害対策マネジメント室長 坂本 悟
- TEC-FORCE派遣者の体験談(2016熊本地震)  
：東北地域づくり協会 防災技術部長 土田 恒年
- 質疑応答



講義状況(本所)



質疑応答(東北地方整備局講師)

## 事務局報告

## 防災エキスパート研修会の開催



質疑応答(本所)



受講状況(本所)

## 新規にご登録いただきました

令和2年12月17日～令和3年4月20日現在まで、**防災エキスパート新会員として、10名の方が新たに登録されました。**

番号	氏名	登録県	支援可能事務所
1	片桐 真也	山形	山形河川国道事、寒河江(出)、南陽(出)、長井(出)
2	新井田 隆雄	岩手	岩手河川国道、盛岡国道維持(出)、二戸国道維持(出)、盛岡西国道維持(出)、水沢国道維持(出)
3	長崎 有司	青森	青森河川国道、十和田国道維持(出)、弘前国道維持(出)、青森国道維持(出) 藤崎(出)、五所川原(出)
4	鈴木 恵吉	秋田	湯沢河川国道、湯沢河川国道管内全て
5	小田島 栄治	宮城	北上川下流河川、鳴瀬(出)、七ヶ宿ダム(管)
6	杉本 崇将	青森	建マネ(技術ロジ) 日本振興株式会社
7	七宮 明	宮城	建マネ(技術ロジ) 日本振興株式会社
8	山田 幸四郎	宮城	建マネ(技術ロジ) 日本振興株式会社
9	左右田 満	宮城	後方支援(協会ロジ)
10	葛西 信一	宮城	後方支援(協会ロジ)

編集  
後記

4月1日付けで東北地域づくり協会防災技術部に配属となりました小田島と申します。どうぞ、よろしくお願いたします。なお、別組織の仕事も兼務していますので、不在の場合はご不便をおかけしますが電話転送を依頼していただければ幸いです。

さて、平成8年2月7日に「東北地方防災エキスパート」が制度化され、今年で25年目となります。この間、地震や風水害への災害支援はもとより、平常時における防災訓練・巡視への参加等、防災エキスパートに対する期待が更に高まっている状況です。

昨年度は課題となっていた人員の増強として、一般社団法人東北建設マネジメント技術協会加盟会社の所属技術者の新規登録実施や、防災エキスパート所属企業と当協会との協力協定の締結を行っています。また、東北地方整備局災害対策室の代替箇所提供として、防災情報機器の全面更新を行う等、体制の強化も図っております。

新型コロナ禍の収束が見通せないなか、窮屈な対応を求められる場面も多々想定されますが、皆様におかれましては、防災エキスパート活動へのより一層のご協力等、よろしくお願いたします。



## 防災エキスパート事務局

(一般社団法人東北地域づくり協会 防災技術部)

TEL:022-268-4711

FAX:022-227-5244

E-mail:bousai-expt@kyokai.or.jp